**避難所での感染症の予防について**

避難所では、十分な食事や休養がとれず、体力が低下することがあります。また多くの人と生活するため、インフルエンザや風邪、下痢が流行する場合があります。
感染症（インフルエンザや風邪、ノロウィルス感染による下痢など）予防のために
（１）トイレの後や食事の前、子どもや高齢者の排せつ介助の後に手洗いをする。
　　　※断水しているところでは、アルコールの入った消毒液を使ったり、ウェットティッシュで手をふいたりする。
（２）マスクを着用する。

※マスクが少ない場合は、発熱・せき・くしゃみ・鼻水の症状のある人にマスクをしてもらう。
※マスクが手に入らない場合は、せきやくしゃみをするときにハンカチやティッシュなどで口と鼻をおおい、まわりの人から顔をそむけて１ｍ以上離れる。使ったティッシュはそのままゴミ箱にすてる。
（３）吐物や便はできるだけ手袋とマスクを着用して、処理する。
（４）１日に数回は窓を開けて、換気をする。
（５）炊き出しやおにぎりを作る場合、細菌の付着を減らすため、手袋をする。
（６）加熱が必要な食品はしっかり加熱して食べる。